



夏休みは、大人にとっても 子どもにとっても
普段とは違う時間が流れます
思い出深い夏休みになりますように・・・

～新しい出会いに感謝～



新事務局 渡部 栄子

“わぁ 緑が多くてのどかな感じ!! 住み慣れた会津の風景に似ていて、此处でなら新生活のスタートがきれいかも・・・”と、いうわけで今年の4月下旬から清瀬市民となりました。

素敵なご縁により、5月からピッコロにお世話になりお電話等で会津訛りを披露（苦笑）している渡部栄子と申します。まだまだ不慣れではありますが、利用者の皆様・支援者の皆様・事務局の皆様どうぞよろしくお願い致します。

私の担当としましては、主に育児支援・ひとり親支援のコーディネーターとして携わせて頂いておりますが、とにかく一日も早く皆様のお顔とお名前が一致するよう努めることが、現在における私にとっての最大の課題だと思っております…

次に、地域を知る!! まずは地区名・主要道路・公共施設 etc 覚えることが多く、あと 20 歳若ければ・・・な～んて、実は不可能なことを本気で考えている今日この頃です・・・

昨日もチャレンジをしようと、丁寧に地図まで書いて頂き隣接市へ向かいましたが、途中で目印を見失い、近くを歩いていた女性に尋ねましたら日本人の方ではなく、話している意味がよく解らず、結局断念して戻って来てしまいました。あと一歩の勇気があれば、クリア出来たのでしょうか… 地域に馴染むまでには、もうしばらく時間が必要なのでしょうね。今度は休日にでも自転車でのおんぴりと探索を試みたいと思っております。

さて、当初より個人的に関心をよせていた『子育て支援のデパート』として全国的にも名高いピッコロ全般の事業について、ある程度はその背景としくみを把握していたものの、実際の業務に携わってみますと、陰で支えて下さる方々の地域への貢献度に加え、各人の意識の高さに、その言動力があるのだと日々とても通感し、また感激もしております。

その中でも特に感じることは、支援者の皆様の前向きな姿勢と謙虚なサポートが、利用者の皆様にとって親子の愛着形成の大切な一助に繋がっていることの素晴らしさに心温まる思いでいっぱいです。本当に感謝いたします。

このように、高い志を掲げるピッコロの利用者・支援者・事務局の皆様とこれからご一緒できることに喜びを感じつつ、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。



♡ つどいの広場って…こんなところ！ 是非、遊びに来てね!!

元町つどいの広場(けやきホール3F)・竹丘つどいの広場(竹丘地域市民センター2F)

今、つどいのひろばの壁面には朝顔、ひまわりが咲き、夏祭りの太鼓が響いています。

つどいの広場は、0・1・2歳を中心にした乳幼児の親子が遊べるお部屋です。開所している時間は、いつ行ってもいつ帰っても大丈夫です。

スタッフはアドバイザー2名ですが、時には職場体験の中学生や保育科の大学生、K-netジュニア子育てサポーターの小学生や中学生、ボランティアを希望される大人の方が入る日もあり、毎日子育てしているママ・パパは「かわいい、かわいい」と我が子を抱っこしてもらえ、嬉しそうです。

清瀬市内には、5カ所のつどいの広場がありますが、ピッコロが委託されている元町と竹丘の二カ所のひろばは、12～13時がお弁当タイム。みんなで向き合って食べながら、「それ、おいしそう!」と離乳食の作り方を聞いたり、「おいしいパン屋知ってる?」と食べながらのお話は弾みます。お子さんたちも食欲増進!!

初めてつどいにいらっしゃる方にとっては、まずはつどいの広場のドアを開けることが勇気のいることと思うので、アドバイザーは来て下さる方々が楽しく過ごしてもらえように、心掛けています。

お子さんにとっても緊張は同じと思うので、一緒にそばにいておもちゃをさし出して遊びに誘ったりしているうちに打ち解けてきます。回を重ねるうちに、お子さんはおもちゃに一目散!

日頃はノンプログラムなひろばですが、たま～の講座は好評で、今年度は「名札づくり」「童謡をうたおう」「電車おもちゃづくり」をしました。作ってくれた名札を使っていると、これから続く「リトミック」「牛乳パックのいすづくり」「仕事復帰するママのおしゃべり会」の講座にも力が入ります。定期的に、図書館の読み聞かせや駅前乳児保育園の先生によるおはなし会(元町のみ)、身長・体重計測と手形スタンプ(竹丘のみ)もありますので、ぜひ乳幼児がいらっしゃる方のご利用ください。またお知り合いの方におすすめしてください。

保護者の方には、片隅のコーヒーコーナーで、ちょっと一息できます。 つどいのひろば責任者 塚原真理子

「ピッコロルーム」から

暑い日が続き、さすがに遠出は難しく日差しが少し落ちた頃に、外へ出てじょうろなどで水遊びを楽しんでいます。

ねんねの赤ちゃんが来てくれると、ちょっと先輩お姉さんは、『いいこ いいこ』と頭をなでなで…。言葉は通じなくても優しい手は赤ちゃんにもわかるようです。



ピッコロ団体保育研修会 を終えて・・・

団体保育は、預けられる子どもの気持ち、預ける保護者の気持ち、支援者にとっては、初めての場所での初めてのお子さんと出会い、初めて会う保護者からお子さんを預かるということ。

それぞれの気持ちを大事にしながら安全に、安心してお子さんを保育できるように、準備が必要です。

・・・保育が終わった後、お子さんと保護者の笑顔が支援者も笑顔にしてくれます。

9月3日(木) 9:30～団体保育研修会第2弾開催します。支援者の方は、参加申込みをしてください。



<参加者の感想>

- ・今日の講義を受けて、改めて見直し、確認等が出来て大変良かったと思っています。ママたちが安心して学んだり、リラックスタイムが過ごせるように団体保育が利用しやすいよう、楽しいものに出来るといいですね。
- ・団体保育とは何かをしっかりと考えることが出来ました。団体保育に限らず、保育者としての意識が大切なんだと感じました。
- ・新しい会員を迎え、実のある研修でした。グループに分かれて、意見を出し合う方法もよくて自分で気がつかなかった点なども改めて気付いたりできます。事故なく安全な保育が出来るよう、みんなで、気を引き締めることができたのが良かったと思います。



つどいの広場講座

好評の名札作りの作品。
用意された布などで思い思いの作品を作ります!



つどいの広場講座

親子で楽しむわらべ歌♪



ピッコロの会員になって6年目に思うこと

支援者 永滝 幸子 さん

ファミリーサポートの講習会を受講したことをきっかけとして、会員となり子育て支援には様々な分野があることを学びました。長年の地道で熱いピッコロ方式の活動が地域はもちろんのこと周辺の厚い壁も揺り動かして子育て支援に大きな成果をもたらしています。

様々な支援の中で印象に残っていることは、短期間でしたが「地域をつなぐ赤ちゃん～高齢者のサロン事業 あおいとり」運営での可愛い子ども達の日々の成長ぶりでした。

ある日、年配の中村さん(仮称)の訪問があり玄関で靴を脱ぎバッグを置いてると1歳過ぎて歩き始めて間もないひまわりちゃん(仮称)がトコトコとそばに寄り、モミジの手で靴を指して、靴入れに入れてと言葉はなくても中村さんに懸命に伝えてバッグをよっこらしょと持ってご案内をしてくれました。

一瞬のひまわりちゃんの自然な仕草に周囲の大人は、にっこり幸せいっぱいになりました。泣き虫ひまわりちゃんは、「あおいとり」で何を感じてくれたのかなー。

0歳児であっても、自ら考える力は備わっており、例えば「人の役に立つ喜び」等を心して、せかせかしないでゆったりとした遊びの空間を整えることが大切だなーと思っています。過去も現在も子育ての環境は厳しいものですが、子どもも大人もみんなが数秒でも幸せになる支援を少しでもできればと考える日々です。素晴らしい出会いに感謝をこめて。

「あおいとりサロン」は、清瀬市内の医療法人社団順洋会武蔵野総合クリニック(以下武蔵野総合クリニック)からスペース提供の提案を受けました。そこでかねてからの希望である多世代交流サロンを実現するべく、独立行政法人福祉医療機構に社会福祉振興助成事業の地域連携活動支援事業として助成金を得て2012年7月～2013年2月まで開所しておりました。

育児支援ヘルパーと子育てクーポンを利用して

利用者 I/Tさん

五月に第二子を出産し、沐浴、食事の用意、未就園児上の子のお世話を依頼し、育児支援ヘルパーさんに来ていただきました。

第一子の産後、手伝いなしで乗りきったものの、無理をしたせいか産後うつ気味になってしまったことから、今回は上の子もいるししっかり休んでしっかり元気になりたい、ちゃんとしたものを食べさせてあげたい…と思い、妊娠中から使える制度は利用しよう!と調べました。

上の子は赤ちゃん返りで駄々をこねたりしましたが、ヘルパーさんの大らかさ優しさに自然と懐き、一緒に遊べるのを楽しみにしていました。

私もゆっくり休むことができただけでなく、子どもへの向き合い方や、料理のレパートリー、いろいろな人が育児に携わる大切さなど、学ぶことがたくさんありました。

今回はクーポンも使用することができ、低価格で良い支援を受けられたことに感謝します。

清瀬に住んでいてよかったなあ、これからも人の手を借りながら肩の力を抜いて子育てしていこう、と思いました。

…「清瀬市子育て・キラリ・クーポン券」で、ピッコロ保育・ファミリー・サポートきよせピッコロルームでもご利用いただけます。



清瀬駅前の西友4階の飯田書店さんのご厚意で壁面をお借りしています。

子育て中のママさんたちが手作りしてくれたピッコロやファミサポ・K-netのパンフレットポストは丁寧に布を張られ、周りには手作りの小物が飾られています。

成田志穂美さん、北真紀さん、清水智子さん、酒井朋子さん、堀寿美子さん…ありがとうございました!

色々な方が支えてくださるのが嬉しいですね!!

《会員状況 2015.7.24 現在》 正会員 55 名・準会員 153 名・賛助会員17名(個人 12 名・法人 5 名)

♥3,000 円以上寄付をいただいた方♥

朝倉勇さん・篠崎摩紀さん・小松飛希さん・大川正さん・大川ミヤさん・大川輝さん・小野寺敦さん
成田一次さん。みなさんありがとうございました。

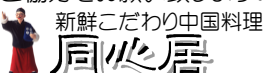
♥賛助会員(個人)

佐々木早苗さん

*認定NPO取得の準備を進めております。そのために毎年 3,000 円以上の寄付者100名を目指しております。

引き続き寄付のご協力をお願い致します。

♥法人会員♥



薬樹株式会社



(株) 関工務店

ピッコロはいつでも賛助会員(個人・法人会員)を募集しています。活動を維持していくために寄付も募っていますー

6月～7月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 6/1(月)◆保育サービス講習会と修了式 6/4(木)○女子医大保育サービス講習会(東医大) ~6/30 修了 6/5(金)○事務局会議(事務所) 6/8(月)◆サバ/アド調整会議(事務所) △K-net 運営会議△つどい調整会議 6/9(火) ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(二中) ◆3~4カ月児健診(ファミサボ説明) 6/10(水)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(二中) 6/11(木)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(二中) 6/12(金)△K-netひろば 6/14(日)△K-netリフレッシュ講座・ピーズ 6/16(火)○ピッコロ団体保育研修会 6/19(金)○事務局会議 6/22(月)○事務局会議○要保護児童対策地域協議会 ○地域福祉活動計画策定委員会 6/23(火)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(三中) 6/24(水)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(三中) 6/25(木)○女子医大調整会議(東医大にて) 7/1(火)OK-net 中里ひろば 7/2(水)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(清中) 7/3(木)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(清中) 7/5(日)◆第1回全体交流会 7/6(月)◆サブアド調整会議 7/7(火)○事務局会議 7/10(金)△K-netひろば 7/13(月)△K-net サポータースキルアップ研修会/ K-net 運営会議 7/14(火)◆3~4カ月児健診(ファミサボ説明) 7/27(月)○正会員のつどい 7/29(水)△K-net 子育てサポーター養成講座 ○事務局会議 7/31(金)△K-netひろば	◆ファミサボ HS=ホームスタート HV=ホームビーター 8/3(月) 9:15~ ◆サバ/アド調整会議(事務所) 8/7(金)10:00~ △K-netひろば(アイレック) 8/17(月)13:00~△つどい調整会議 8/18(火)12:30~◆3~4カ月児健診(ファミサボ説明) 8/20(木)9:30~ ○事務局会議(事務所) 8/28(金)10:00~○ホームビーター報告会(けやきホール/セミナー) 8/31(月)9:45~ ○定例会(けやきホール/セミナー) 9/3(木)9:30~ ○団体保育研修会第2弾!!(アイレック会議室) 9/4(金)9:30~ ○事務局会議(事務所) 13:00~○リスクマネジメント研修会(担当者出席) 9/7(月)9:15~ ◆サブアド調整会議(事務所) 9/8(火)12:30~ ◆3~4カ月児健診(ファミサボ説明) 9/8(火)8:00~ ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(五中) 9/9(水)10:00~ ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(五中) 9/11(金)10:00~△K-netひろば(アイレック) 9/14(月)9:00~ OK-net 運営会議 ○つどい調整会議 13:30~○女子医大サバ/アド研修会(東京医科大学大学病院本館) 9/16(水)10:00~OK-net 中里ひろば 9/17(木)9:30~ ○事務局会議(事務所) 9/18(金) 8:00~ ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(四中) 9/28(月)10:00~○正会員のつどい(けやきホール/セミナー) 9/29(火)10:00~HVホームビーター養成講座 ~10/30(金)終了 9/30(水) 9:30~ ○事務局会議(事務所) 10:00~△K-netリフレッシュ講座(手作りおもちゃ) 10/8(木)◆保育サービス講習会開始 ~11/11 終了

清瀬での活動を報告します！支援者の方、利用者の方参加ください！



《編集後記》
 そのお子さんの保育が初めての日、保育園に迎えに行った。1歳7か月の男の子。私を見た瞬間、恥ずかしそうに戸の後ろに隠れた。「○○ちゃんが待っているよ」とお姉ちゃんの名前を言う準備を始めた。十分ほどの道のりを無言だが指をしっかりと握ってくれる。知っているだろうと思われる歌を口ずさむ。がなかなか乗って来ない。そのうち路線バスが通ると「バスビューー(バス)」と立ち止まり、通り過ぎるまで見入っている。そっと抱き上げしばらく歩く。
 自宅で少し待つと母親が帰宅。笑顔も見え、緊張していた顔がほどけ、大きな声も聞こえた。顔合わせはしているものの小さなお子さんにとっては知らない人。
 無理をしないでお子さんとのペースに合わせてゆっくりおつきあいできたら嬉しい。
 五月から事務局に渡部さんをお迎えできた。ピッコロに新しい風を送ってみたい。また、一歩前に進んでいければと思う。長くゆっくり。